

## 令和5年度 府民野鳥観察会「宝が池の野鳥」報告

【主催】 京都府山岳連盟

【主管】 自然保護委員会

【日時】 令和6年2月4日(日) 9:00~12:15

【実施場所】 宝が池公園(京都市左京区)

【集合】 9:00 地下鉄烏丸線国際会館前駅5番出口

【講師】 谷角裕之(一社 日本山岳協会認定自然保護指導員)

西村克之、小野田香澄、石川順一(日本野鳥の会京都支部)

【参加者】 一般会員37名

自然保護委員14名(湯浅・谷角・岡田・伊佐・方山・服部・北川・山本・増尾・重川・  
山田・西田・丸山・光島)

外部講師3名(西村・小野田・石川)

計54名

【行程】 9:00 国際会館前駅5番出口集合 出席確認  
開会挨拶(湯浅委員長 谷角指導員)  
講師紹介 班分け(3班)  
双眼鏡の操作方法、野鳥観察のポイントついて概説  
9:30 岩倉川沿いを観察  
10:30 山端橋で折り返し  
10:45 桜の森(トイレ休憩)  
11:15 宝が池周回路にて観察  
11:50 鳥合わせ、解散式  
12:15 解散



【行程図】

【コース距離】 約4km

【天候】 晴れ 無風 気温 9.7℃(京都地方気象台正午)

【役割分担】 CL：谷角 受付：方山 会計：光島 無線：湯浅

写真：山本・浅尾・丸山・服部 記録：丸山・服部

スーパ－：北川 地図作成：岡田

### 【観察記録】

心配された天気も集合時には青空が見え始め、風もなく穏やかな早春の日差しの下、54名の参加者を得て、京都市左京区宝ヶ池公園にて野鳥観察会を行いました。

観察中は講師の皆様から、鳥たちの雌雄の区別、外見の特徴、食べ物や生態、営巣地などについての詳細な説明もいただき、水辺や林の多様な野鳥を興味深く観察することができました。オシドリこそ現れませんでした。カワセミやカモ類、イソシギ、ヤマガラなどを参加者皆で双眼鏡をのぞきながら互いに教え合う、和やかな観察会となりました。

日本野鳥の会京都支部の講師の皆様、ご協力ありがとうございました。

観察内容の詳細は以下のとおりです。

## 1 集合場所にて

開会にあたって谷角委員から、野鳥観察会では野鳥の名前や生態を覚えるだけでなく、野鳥が知らせてくれる身近な環境の変化に気づき、野鳥たちと人間がともに生きられる環境を守ることの大切さについて話がありました。

日本野鳥の会京都支部の講師からは、双眼鏡のピント調整の仕方や基礎的な観察方法、カラスやスズメの大きさを物差しに鳥の種類を判断していく方法など説明を受けながら出発しました。



## 2 岩倉川沿いを高野川合流点まで往復

川沿いではイソシギ、キセキレイ、マガモ、カルガモ、カワセミ、カワアイサ、カワウなどがあり、雌雄の見分け方や採餌方法なども説明いただきながら観察できました。



イソシギ



キセキレイ



カワアイサ



カワセミ

### 3 桜の森から宝ヶ池へ

散策路沿いの街路樹や落ち葉の中にヤマガラ、シジュウカラ、エナガ、カワラヒワ、キジバトなどが現れ、鳴き声を聞き分けながら進みました。山沿いには鹿も4頭現れ、ドングリを食べる鹿たちの影響で同じドングリを好むオシドリが来なくなったかもしれないとのこと。鹿害が問題になって久しいですが、野鳥の世界にも影響しているようです。

池にはマガモ、カルガモ、ホシハジロ、オオバン、カワウが泳ぎ、私たちの姿を見て寄ってきました。レストハウスの上空に大群で舞うトビもそうですが、人間の餌付けが野鳥の生態や棲息場所にも影響しているようです。今日はいつもに比べてジョウビタキ、ツグミ、シロハラなどの冬鳥はあまり見られませんでした。



エナガ



オオバン



カワラヒワ



モズ



カワウ



ジョウビタキ



ホシハジロ



シカの群れ

### 4 大谷川堤防にて

宝が池公園からプリンスホテル前の歩道を歩き、岩倉川の堤防を歩いて、レンジャクの観察ポイントなどを教えていただきながら解散地点に到着。「鳥合わせ」の後、無事観察会を終了しました。

#### 《出現鳥》 (順序は日本鳥類目録第7版による)

マガモ、カルガモ、コガモ、ホシハジロ、カワアイサ、カイツブリ、キジバト、カワウ、ダイサギ、コサギ、オオバン、イソシギ、トビ、カワセミ、コゲラ、モズ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヤマガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、ジョウビタキ、スズメ、キセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、ドバト (計32種) 他二ホンヅカ(雌5)